電子オルガン・スタジオエレクトロニクス 1				担当教員	上原 直	
授業形態	配当年次	期　間	対象コース	科目分類	単　位	科目コード
演　習	1～4	通　年	EO	専門選択（各コース）/専門選択	2	1978

1 主題・到達目標

①電子オルガン・ソロ演奏の可能性を探る
Electone STAGEAのさまざまな機能を音楽的に有効活用する方法を学びます。
②クラシックやJAZZ、Popsの名曲のテーマの音色を創り、その演奏表現法を学びます。
③電子オルガンと周辺機器
（Electone STAGEAとコンピュータ&インターネットを接続して、様々な音楽シーンに対応する能力を身に付ける。）
（1）コンピュータと電子楽器（電子オルガンやシンセサイザー）との接続から音作りまで、幅広く学びます。
（2）音楽関連ソフトウェア（波形編集ソフト、MIDIシーケンサ、HDレコーディング、楽譜書き等）の操作方法を習得します。

2 授業概要

授業の課題は、授業数日前にインターネット経由で配布されます。
学生はその課題をプリントアウトし、木曜日の授業までに実施します。
授業後、課題を手直して週末までに指定のサーバーへ送信します。
課題への評価は点数ではなく、詳細なコメントを一人一人に配布します。

3 授業時間外の学習（予習・復習について）

STAGEAの取扱説明書を熟読しておくこと。

4 成績評価の方法及び基準

出席率（評価の30%）
授業への参加姿勢（評価の20%）
授業内の小テスト及びレポート（評価の50%）

5 授業で使用するテキスト・参考文献

自主テキストを配布します。

6 前提科目

特になし

7 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

人数によっては履修を制限する場合があります。

授業計画

[前期]

1	レジストレーション 基本的な音色の組み合わせ方①
2	レジストレーション 基本的な音色の組み合わせ方②
3	レジストレーション 基本的な音色の組み合わせ方③
4	レジストレーション 基本的な音色の組み合わせ方④
5	エフェクトの概念と活用法①
6	エフェクトの概念と活用法②
7	エフェクトの概念と活用法③
8	ボイスエディットの活用法①
9	ボイスエディットの活用法②
10	ボイスエディットの活用法③
11	ボイスエディットの活用法④
12	ボイスエディットの活用法⑤
13	高度なリズムプログラミング①
14	高度なリズムプログラミング②
15	高度なリズムプログラミング③

[後期]

1	STAGEAとコンピュータを繋ぐ①
2	STAGEAとコンピュータを繋ぐ②
3	STAGEAとコンピュータを繋ぐ③
4	STAGEAとコンピュータを繋ぐ④
5	XG音源の有効活用法①
6	XG音源の有効活用法②
7	XG音源の有効活用法③
8	XG音源の有効活用法④
9	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法①
10	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法②
11	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法③
12	映像とシンクロした作品制作法①
13	映像とシンクロした作品制作法②
14	映像とシンクロした作品制作法③
15	作品発表